

# 日本学生支援機構 奨学金説明会

## 本日の内容

### 0. 大事なこと

### 1. 奨学金の概要説明

### 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 泉北高校の今後のスケジュール

泉北高校（以下、本校）でのスケジュールは、以下の通りです。

1回目：4月～5月（給付型・貸与型）

2回目：6月（給付型・貸与型）

3回目：7月（給付型・貸与型）

**基本的には、1回目の方で進めてください。**  
2回目・3回目は、あくまで予備です。

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 泉北高校の今後のスケジュール（1回目）

	第1回申し込み (給付・貸与)	備考
4月24日	資料配布	
5月1日(水) ～5月23日(木)	【提出点検】 ① 確認書兼同意書 ② 各種証明書(各ご家庭により 異なります。)	②に関しては、役所 or 勤務先 に申請が必要な物もあります。 お早めに準備をお願いいたし ます。
5月24日(金) ～5月31日(金)	書類不備 訂正期間	書類不備の訂正が間に合わな い場合は、2回目の募集に回っ ていただきます。
6月上旬	学校から一括申請・書類送付	
書類送付後	支援機構からの不備照会	不備があれば支援機構から連 絡が入ります。
10月下旬	採用候補者決定通知	

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 泉北高校の今後のスケジュール（2回目）

	第2回申し込み (給付・貸与)	備考
4月24日	資料配布	
6月3日(月) ～6月14日(金)	【提出点検】 ① 確認書兼同意書 ② 各種証明書(各ご家庭により 異なります。)	②に関しては、役所 or 勤務先 に申請が必要な物もあります。 お早めに準備をお願いいたし ます。
6月17日(月) ～6月28日(金)	書類不備 訂正期間	書類不備の訂正が間に合わな い場合は、3回目の募集に回っ ていただきます。
7月上旬	学校から一括申請・書類送付	
書類送付後	支援機構からの不備照会	不備があれば支援機構から連 絡が入ります。
11月下旬	採用候補者決定通知	

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 泉北高校の今後のスケジュール（3回目）

	第3回申し込み (給付・貸与)	備考
4月24日	資料配布	
7月1日(月) ～7月12日(金)	【提出点検】 ① 確認書兼同意書 ② 各種証明書(各ご家庭により 異なります。)	②に関しては、役所 or 勤務先 に申請が必要な物もあります。 お早めに準備をお願いいたし ます。
7月15日(月) ～7月31日(水)	書類不備 訂正期間	書類不備の訂正が間に合わな い場合は、申し込みが出来ま せん。
8月上旬	学校から一括申請・書類送付	
書類送付後	支援機構からの不備照会	不備があれば支援機構から連 絡が入ります。
12月下旬	採用候補者決定通知	

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

学校に提出していただく書類は下記のとおりです。

- ① 確認書兼同意書
- ② 各種証明書 など


特に②に関しては、役所・職場などでの申請となる書類になりますので、該当するご家庭はてびきをよくお読みいただき、速やかな準備をお願いいたします。

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## 申し込み書類の準備について

「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学生予約採用の申し込みを希望する皆さんへ

# 申込みのてびき



- この冊子では、奨学生の予約採用の申込手続きについて説明しています。
- 「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学金について理解したうえで、予約採用への申し込みを希望する場合には、この冊子をよく読んで申込みを行ってください。

また、父母等あなたの生計を維持している方にもこの冊子を読んでもらい、奨学金制度の内容及びあなたが奨学金を利用することについて理解してもらってください。

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASSO Japan Student Services Organization

(2025年度大学等予約採用)

を手にとってください。

大阪府立泉北高等学校


# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## 申し込み書類の準備について

### 様式集

「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学生予約採用の申し込みを希望する皆さんへ

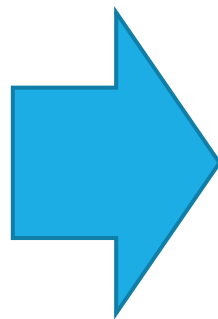
# 申込みのてびき



- この冊子では、奨学生の予約採用の申込手続きについて説明しています。
- 「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学金について理解したうえで、予約採用への申し込みを希望する場合には、この冊子をよく読んで申込みを行ってください。
- また、父母等あなたの生計を維持している方にもこの冊子を読んでもらい、奨学金制度の内容及びあなたが奨学金を利用することについて理解してもらってください。

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASO Japan Student Services Organization

(2025年度大学等予約採用)



2025年度大学等奨学生予約採用 申込関係

# 様式集

各様式はキリトリ線で切り取って使用してください。

### 目次

様式名	様式番号	様式集のページ	申込みのてびきの説明ページ
提出書類一覧表	様式①	①	31ページ【D】
給付奨学金確認書	様式②	③・④	31ページ【E】
貸与奨学金確認書	様式③	⑤・⑥	31ページ【F】
マイナンバー代用書類 提出台紙	様式④	⑦	32ページ【I】
年取等の実績計算書	様式⑤	⑨	32ページ【J】









## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 訂正の方法

記入にミスがあった場合は  
訂正していただきます。

ただしその際、  
「**修正液**」や「**修正テープ**」での修正は  
**不可**です。

次の方法をよく見て、訂正してください。  
(ただし、基本はミスの無いように丁寧に書くこと！)

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 訂正の方法（文字の記入ミス）

正しい訂正例

~~泉北 太郎~~      泉北 太郎

誤った訂正例

泉北 太郎 郎

**一部のみの修正は不可です。**

全文、二重線で消し、

余白に正確に訂正してください。

自著した方が訂正してください。

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### ②各種証明書について

その他特別な事情がある場合は、それを証明する書類を速やかにご準備ください。

**各ご家庭の事情により必要な書類が異なります。**

**「申込みのてびき P29」にて必要な書類を確認し、P30～32を読んで書類の準備をしてください。早めに準備しておくこと！！**

上記以外の特別な事情がある場合は、学校へ速やかに相談してください。



## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

書類が整いましたら、  
次にスカラネット入力を行っていただきます。

### スカラネット入力の手順

- ① 「申し込みの手引き」での入力準備
- ② スカラネット入力
- ③ 受付番号発行
- ④ 受付番号の転記
- ⑤ マイナンバー書類の郵送

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(4ページ目)

I 準備 メモしましょう!

I 申込みの準備

II 申込内容

III 必要書類

IV スカラネット入力

V 書類の提出

VI 申込後

**1. 期限・提出先の確認**

予約採用の申込みは、「スカラネット（インターネット）での入力」と「必要書類の提出」により行います。それぞれ、**学校が定めた期限（締切）**までに行わなければなりません。必ず事前にそれぞれの期限について学校に確認し、忘れないよう記入しましょう。また、**学校に提出する書類の提出先も併せて確認し、記入しておきましょう。**

●スカラネット入力期限		月 日
●JASSOへ簡易書留で郵送する書類（マイナンバー提出書）	提出期限	受付番号発行後1週間以内
●学校へ提出する書類（マイナンバー以外の書類）	提出期限	月 日
	提出先	

**2. ID・パスワードの確認**

スカラネットにログインするには、**2組のIDとパスワード**が必要です。

- 「ユーザID」・「パスワード」
  - ・・・学校から配付されます。（学校ごとにちがいます）
- 「申込ID」・「初期パスワード」

学校から配付されるユーザIDとパスワードは、「マイナンバー提出書」に記載されています。（提出書ごとにちがいます）

学校から配付される	ユーザID	
識別番号	パスワード	
「マイナンバー提出書」に記載	申込ID	Y D 2 4
あなたが設定	初期パスワード	
	変更後パスワード	

**3. 受付番号の確認**

スカラネットで申込入力完了すると、**16桁の受付番号が発行されます**。奨学金の申込みにおいてあなたを特定する重要な番号になりますので、忘れないようメモしておきましょう。

スカラネット入力完了日	月 日
受付番号	- 1 0 -

(2025年度大学等予約採用) 4

この書類は、インターネット入力の為の準備用紙です。

ただし、この書類が不十分であると今後の進め方に支障が出ます。

- スカラネット入力期限  
5月31日（第1回目の場合）
- 書類提出期限提出先  
5月23日（第1回目の場合）
- 提出先  
進路指導室

「日本学生支援機構大学等予約奨学金給付型、貸与型手続き資料等について」のプリントの裏に掲載

マイナンバー提出書のIDなどは書いて下さい。



# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(5ページ目)

I 申し込みの準備

II 申込内容

III 必要書類

IV スカラネット入力

V 書類の提出

VI 申込後

### I 準備 メールアドレス等の準備と様式の確認


#### 1. 【重要】メールアドレスとメールアプリ等の準備

(1) メールアドレスの準備  
申込IDを忘れてしまった場合の申込IDの通知やパスワードを再設定時の認証に使用するため、スカラネットへの初回ログイン時にメールアドレスを登録します。  
スカラネット入力(37ページ~42ページ)を行うまでに、**利用可能なメールアドレスを準備**しましょう。


(2) メールアプリやメールソフトの準備  
メールアドレスを登録する際には、入力したメールアドレスにJASSOから「認証コード」を送信しますので、メール受信ができるメールアプリやメールソフトも準備しましょう。  
※メールアドレスのドメインやメールアプリ等の指定はありませんが、jasas@ses.jasso.go.jpからのメールを受信できるようにしてください。

#### 2. 様式の確認


(1) マイナンバー関係書類の様式  
● 「マイナンバー提出書」のセットと書かれた水色の封筒の中に「**マイナンバー提出書**」が入っています。



(2) マイナンバー関係書類以外の書類の様式  
● 本冊子の中央(23ページと24ページの間)には、「**様式集**」が挟み込まれています。本冊子から「**様式集**」を取り出して使用してください(第三章で説明します)。



様式集に掲載している様式は、JASSOのホームページからダウンロードすることもできます。



5 (2025年度大学等予約採用)

メールアドレスは、  
学校で配布している  
Google アカウントを  
**使わないでください**

必ず、個人で使用している  
メールアドレスを  
用いてください!  
(卒業後、アカウントが  
なくなるため)



# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(9ページ目)

**II 申込内容① あなた自身の情報(続き)**

**●あなたの国籍・在留資格等を選択・記入、書類提出**

(1)国籍の選択	<input type="checkbox"/> 日本国	<input type="checkbox"/> 日本国以外
----------	------------------------------	--------------------------------

日本国籍以外の人は以下について申告してください

(2)在留資格等の選択	(3)選択した留資格等に示した申告事項(申込要件)	
<input type="checkbox"/> 永住者 <input type="checkbox"/> 特別永住者 <input type="checkbox"/> 日本人の配偶者等 <input type="checkbox"/> 永住者の配偶者等	①在留期限(満了日)	(西暦) 年 月 日
	②日本に永住する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり) <input type="checkbox"/> いいえ(なし)
<input type="checkbox"/> 定住者	①在留期限(満了日)	(西暦) 年 月 日
	②大学等卒業後に日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり) <input type="checkbox"/> いいえ(なし)
	③日本国に初めて入国した日	(西暦) 年 月 日
	④日本国の小学校の卒業有無等	<input type="checkbox"/> 卒業した <input type="checkbox"/> 卒業していない
	⑤日本国の中学校の卒業有無等	<input type="checkbox"/> 卒業した <input type="checkbox"/> 卒業していない
<input type="checkbox"/> 家族滞在	小学校名	
	所在地(都道府県)	部・道 府・県
	中学校名	
	所在地(都道府県)	部・道 府・県

①在留資格・在留期限は、**在留カード**・**特別永住者証明書**を見ながら選択・記入してください。

②国籍が日本国以外の方は、選択した**在留資格の証明書類**の提出が必要です(31ページ【G】)。

なお、選択肢にない在留資格の人や、永住の意思がない定住者の人、要件を満たさない家族滞在の人は申込みできません。(あなたの在留資格が、「留学」や「特定活動」などの場合は**申込資格がないため採用されません。**)

③在留期限がスカラネット入力日より前の人は、**在留資格更新の申請をしたことを示す書類**の提出が必要です(31ページ【G】)。

④在留期限が進学日より前の人は、進学時にも在留資格の証明書類(在留期限が進学日以降のもの)の提出が必要です。進学日までに在留資格更新の申請を行い許可されている必要があります。

更新手続きを忘れると、進学後に奨学金を受けることができません。

**特別永住者証明書**

日本国政府  
特別永住者証明書  
番号: F312345678910

氏名: HONG KIL DONG  
性別: 男 M.  
生年月日: 2000年10月02日  
国籍: 中国  
住所: 東京都千代田区千代田  
有効期限: 2025年05月30日まで有効

**在留カード**

日本国政府  
在留カード  
番号: AB12345678CD

氏名: TURNER ELIZABETH  
性別: 女 F.  
生年月日: 2006年12月31日  
国籍: 米国  
住所: 東京都千代田区千代田  
有効期限: 2025年12月31日  
在留資格: 定住者  
有効期限: 2025年12月31日

自分の国籍に○を付けて下さい。  
**日本国以外の方は、**  
 現在の在留資格の状態を  
 記入して下さい。

9 (2025年度大学等予約採用)

大阪府立泉北高等学校

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(11ページ目)

I 申込みの準備

II 申込内容① あなた自身の情報(続き)

**●あなたの性別・連絡先を記入**

性別(任意)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 無回答		
現住所	〒 _____ 郵便 府県		
電話番号	自宅(固定)	携帯	

①現住所は、奨学金申込み時点で住んでいる住所を記入してください。(住居費と一致していなくても構いません)  
 ②提出いただいたマイナンバー( JASSO に簡易書留で番投郵送)に不備があった場合は、スカラネットに登録された現住所宛に簡易書留でお手紙を郵送、又は登録された電話番号にマイナンバー提出専用コールセンター(0570-001-320)からお電話をします。不備の連絡を取れるよう、間違いなく記入しましょう。

**●あなたの在籍(卒業)校を記入**

学校名			
課程(分野学科)	(下の表の中から当てはまるものを記入)		
学科(昼夜課程)	(下の表の中から当てはまるものを記入)		
クラス	年	組	出席番号
卒業(予定)年月	(西暦) 年	月	

①課程・学科について、どの選択肢を記入すればよいか分からない場合は、学校に確認してください。  
 ②既卒生の人は、学年・組・出席番号は空欄で構いません(学校から指示があった場合はそのとりに記入してください)。  
 ③現役生の方は卒業予定年月を、既卒生の方は卒業年月を記入してください(卒業後2年まで有効期間で申し込むことができます。)(貸与奨学金案内6ページ、給付奨学金案内3ページの申込資格を確認してください。)

●課程・学科(分野学科・昼夜課程)の選択肢

高等学校の場合	課程	全日制	定時制	通信制
学科		普通	農業	水産
		工業	商業	家庭
		芸術	衛生看護	総合
		その他		
専修学校(高等課程)の場合	分野学科	工業	農業	医療(看護)
		医療(准看護)	医療(その他)	
	昼夜課程	衛生	教育・社会福祉	商業実務
		服飾家政	文化教養	
		昼	夜	

**●JASSOの奨学金の利用経験を選択・記入**

日本学生支援機構奨学金の利用経験	<input type="checkbox"/> はい(ある) <input type="checkbox"/> いいえ(ない)
奨学生番号(フルダウン部分)	00・01・02・04・07・ 08・09・10・11・12

※JASSOでは平成17年以降、高校生対象に奨学金の貸与を行っておりません。  
 高等学校在学中に奨学金を利用したのが平成17年以降の場合は、「いいえ(ない)」を選択してください。

① 必要事項を記入して下さい。  
性別は任意です。  
当該電話番号がない場合は、  
空欄で構いません。

② 必要事項を記入して下さい。

- 学校名 **大阪府立泉北高等学校**
- 課程 **全日制**
- 学科 **その他**
- 卒業年月 **2025年3月**

③ 奨学生番号を持っていれば  
入力してください。

大阪府立泉北高等学校



# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(13ページ目)

I 申し込みの準備

II 申込内容


III 必要書類

IV スカラネット入力

V 書類の提出

VI 申込後

II 申込内容の 希望する奨学金

●希望する奨学金の種類を選択 

受付番号が発行された日の翌日から5日間に変更は可能ですが、それ以降は変更できませんので、慎重に選択してください。

給付奨学金の申込み	<input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません	
貸与奨学金の申込み	<input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません	
希望する貸与奨学金の種類 (申込区分)	<input type="checkbox"/> 1 「第一種奨学金のみ」審査を希望する	第一種奨学金のみ審査します。
※希望する奨学金の番号を1つ選択してください。	<input type="checkbox"/> 2 「第二種奨学金のみ」審査を希望する	第二種奨学金のみ審査します。
※併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金を併せて利用することです。	<input type="checkbox"/> 3 「併用貸与」「第一種奨学金」「第二種奨学金」の審査を希望する	併用貸与、第一種奨学金、第二種奨学金の審査をします。
入学時特別増額貸与奨学金 (一時金)の申込み	<input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません	

① 「希望する奨学金」の選択に関するよくある質問

Q1. 「1:「第一種奨学金のみ」審査を希望する」を選択しました。第一種奨学金が不採用になった場合、自動的に第二種奨学金の審査も行われますか?

A1. 自動的に第二種奨学金の審査は行いません。第二種奨学金の審査も希望する場合には、「3:「併用貸与」「第一種奨学金」「第二種奨学金」の審査を希望する」を選択してください。

Q2. 「3:「併用貸与」「第一種奨学金」「第二種奨学金」の審査を希望する」を選択し併用貸与の採用候補者に決定しました。この場合、第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に利用しないといけないのでしょうか?

A2. 両方同時に利用する必要はありません。併用貸与の採用候補者に決定した場合には、両方同時に利用する併用貸与のほか、不要な奨学金を進学時に辞退することで、第一種奨学金のみ又は第二種奨学金のみ利用することもできます。

Q3. 「入学時特別増額貸与奨学金のみ」を申し込むことはできますか?

A3. 入学時特別増額貸与奨学金を単独で申し込むことはできません。

Q4. 「給付奨学金」と「入学時特別増額貸与奨学金のみ」の組み合わせで申し込みますか?

A4. 申し込むことはできません。

Q5. 併用貸与と第一種奨学金を希望しています。評定平均値が3.5未満ですが学校より進学後の学修意欲等を有するとして推薦されました。併用貸与や第一種奨学金の家計基準を満たした場合には必ず採用候補者になりますか?

A5. 併用貸与や第一種奨学金の採用候補者となるとは限りません。評定平均値3.5未満の人で学校より進学後の学修意欲等を有すると推薦された人は、次の①~③のいずれか1つを満たさなければ学力基準を満たしていないと判定されるため、併用貸与や第一種奨学金は不採用となります。  
①貸与額算定基準額が0円、②生計維持者が生活保護を受給している、③あなたが社会的貢献を必要とする人である  
※「貸与奨学金案内」7ページも併せて確認してください。

① 自身の申し込む奨学金について記入して下さい。

② 自分の希望する奨学金に○を付けて下さい。ただし、奨学金が必ず必要なご家庭は3をすすめます。

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(15ページ目)

I 申込みの準備

II 申込内容

III 必要書類

IV スカラネット入力

V 書類の提出

VI 申込後

**II 申込内容② 希望する奨学金 (続き)**

▲貸与奨学金の内容 (貸与奨学金を希望する人のみ選択・記入)  
13ページで選択した貸与奨学金の種類に従い、その内容を選択・記入してください。  
 ※以下の内容はいずれも進学時に変更が可能です。(貸与奨学金案内25ページ)。

種別	項目	選択肢	説明
第一種奨学金 ※希望する貸与奨学金の種類 (13ページ) で、区分1又は3を選択した人	希望月額 <small>貸与奨学金案内 4ページ</small>	(どちらかを選択) <input type="checkbox"/> 最高月額 <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額	第一種奨学金「最高月額」の利用には、併用貸与の家計基準 (貸与奨学金案内8ページ) を満たしている必要があります。
	返還方式 <small>貸与奨学金案内 15ページ</small>	(どちらかを選択) <input type="checkbox"/> 所得連動返還方式 <input type="checkbox"/> 定額返還方式	第一種奨学金については、「所得連動返還方式」または「定額返還方式」のどちらかを選択していただけます。
	保証制度 <small>貸与奨学金案内 12ページ</small>	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	所得連動返還方式を選択した場合は、自動的に機関保証となります。
第二種奨学金 ※希望する貸与奨学金の種類 (13ページ) で、区分2又は3を選択した人	希望月額 <small>貸与奨学金案内 4ページ</small>	月額 _____ 万円	2万円～12万円の間で、1万円単位の金額を記入。
	返還方式 <small>貸与奨学金案内 15ページ</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 定額返還方式	自動的に定額返還方式になります。
	保証制度 <small>貸与奨学金案内 12ページ</small>	(どちらかを選択) <input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	・第一種で定額返還方式を選択した場合、第二種は第一種と同じ保証制度になります。 ・第一種で所得連動返還方式を選択した場合、第二種はどちらかの保証制度を選択できます。  【海外大学への進学希望者】 予約申込時は進学先を限定していないため、機関保証・人的保証のどちらかを選択してください。 海外大学進学時には、両方の加入が必要です (貸与奨学金案内32ページ)。
利率の算定方式 <small>貸与奨学金案内 14ページ</small>	(どちらかを選択) <input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	第二種奨学金については、「利率固定方式」または「利率見直し方式」のどちらかを選択していただけます。	
入学時特別増額貸与奨学金 ※「入学時特別増額貸与奨学金を希望する」を選択した人	希望月額 <small>貸与奨学金案内 4ページ</small>	一冊金 _____ 万円	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円のいずれか1つを記入。
	返還方式 <small>貸与奨学金案内 15ページ</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 定額返還方式	自動的に定額返還方式になります。
	保証制度 <small>貸与奨学金案内 12ページ</small>	(自動入力)	第一種奨学金または第二種奨学金の保証制度と同じ保証制度になります。
利率の算定方式 <small>貸与奨学金案内 14ページ</small>	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	第二種奨学金も同時に申し込みの場合には、第二種奨学金と同じ算定方式になります。	

自分の希望する奨学金の金額等を記入して下さい。  
 入学時特別増額貸与奨学金は、多めに申請することを薦めます。

その他、  
 ・返還方式  
 ・保証制度  
 ・利率 などについて書いてください。

**金額等は、後で変更が出来ます。  
 多めに考えておいてください。**

①金額について、併用貸与を希望する人は、併用貸与が利用できる場合の月額として選択してください。  
 ②対勘金庫の入学時必要資金融資制度 (つなぎ融資) の利用を検討している人は、申込時に選択した入学時特別増額貸与奨学金の額が返済額になるので、注意して選択してください。(貸与奨学金案内22ページ)。

15 (2025年度大学進学予約案内)

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(17ページ目)

I 申し込みの準備

II 申込内容

III 必要書類

IV スカラネット入力

V 書類の提出

VI 申込後

### II 申込内容③ 世帯の状況

ここからは、あなたとあなたの家族の状況を確認していきます。  
まず、あなたが「社会的養護を必要とする人」(1ページ)に当てはまるかどうかを確認します。該当する人は、1人家族(あなた自身が生計維持者)として扱うとともに、**証明書類の提出が必要**です。

社会的養護を必要とする人の確認、書類提出

満18歳となる日の前日時点で(18歳となっていない人は申込時点で)次の施設に入所していた(いる)

社会的養護  はい(「社会的養護を必要とする人」である)  いいえ(「社会的養護を必要とする人」ではない)

「はい」を選んだ人は、以下の「入所施設等」と「入所年月」も選択します。

入所施設等  児童養護施設入所者等  児童自立支援施設入所者等  
 児童心理治療施設入所者等  自立援助ホーム入所者等  
 里親に養育されている(いた)  ファミリーホームで養育されている(いた)

入所年月 (施設に入所した(里親に育てられた)のはいつからか) (西暦) 年 月

⚠ 児童相談所等に一時保護されていた(いる)人の申告について  
児童相談所等に一時保護されていた(いる)人は、「入所施設等:児童養護施設入所者等」を選択してください。

⚠ 社会的養護を必要とする人に該当する場合は証明書類が必要です  
あなたが「社会的養護を必要とする人」に該当する場合(1ページ)には、在籍する児童養護施設等が発行する「在籍証明書」や児童相談所等が発行する「児童(里親)委託証明書」等を提出し、施設等に在籍または里親に養育されていた(いる)こと、児童相談所等に入所して(養育されてまたは一時保護されて)いた(いる)ことを審査にて確認します。  
奨学金申込時点のあなたの年齢によって証明する在籍日等が異なりますので注意してください。

奨学金申込時点のあなたの年齢	必要な書類
18歳未満	奨学金申込時点で児童養護施設等に在籍または里親に養育されていることを確認できる書類(31ページ【H】)
18歳以上	満18歳となる前日時点で児童養護施設等に在籍または里親に養育されていることを確認できる書類(31ページ【H】)

① 世帯の状況の確認です。

② 該当するものがなければ「いいえ」に✓をして下さい。「はい」の場合は、下記も書いてください。

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(19ページ目)

**II 申込内容③ 世帯の状況(続き)**

●家族分類チェック表の選択・記入  
 【家族分類チェック表・記入欄】にあなただの家族(奨学金申込時点であなたと同一生計の人)を記入してください。

記入欄の説明は次のとおりです。

①続柄欄  
 ・家族の続柄を記入します。続柄は以下から選択して記入してください。  
 (注1)「本人」、「父」、「母」についてはあらかじめ印字しています。

②漢字氏名欄  
 ・「父」「母」欄に、それぞれ父母の氏名を記入します。  
 (注2)父・母は別居していても原則同一生計と見なします(記入が必要)。  
 (注3)父(母)の再婚相手と同居している場合、原則同一生計と見なします(記入が必要)。この場合、続柄は「父」または「母」を選択してください。  
 (注4)行方不明、意識不明等の特殊な事情がある場合は同一生計から除外できる場合があります。  
 ・父母以外の家族の氏名を記入します。  
 (注5)同一生計ではない親族(独立して生活している人(兄弟など))は記入不要です。

⚠ 続柄が「本人」「父」「母」以外にあなただと同一生計の家族については、最大13人までスカラネットに入力できます。スカラネットに入力しきれない場合には、学校に相談してください。

【家族分類チェック表・記入欄】奨学金申込時点であなたと同一生計の家族を記入します。

	①続柄	②漢字氏名		③年齢	①続柄	②漢字氏名		③年齢
		姓 (5文字まで)	名 (5文字まで)			姓 (5文字まで)	名 (5文字まで)	
1	本人			9				
2	父			10				
3	母			11				
4				12				
5				13				
6				14				
7				15				
8				16				

↑ 生計維持者となる人の番号に○をつける      ↑ 生計維持者となる人の番号に○をつける

※原則父母2名が生計維持者となるため、あらかじめ○を印字しています。  
 (注) 父母2名ともいない場合は、あなただの生計を維持している生徒本人(1名)が生計維持者となります。(21ページ)  
 (注) 社会的責任を必要とする人(例えば、ある特定の宗教に属する人)は、この欄に記入してください。

- ① 19ページ上を参考に、表を完成させてください。父母以外の家族は、同一生計の家族を書いてください。



# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(23ペ

生計維持者については「申し込みの手引き」のP21を参照の事。

**II 申込内容④ 生計維持者の情報(続き)**

●生計維持者の情報を選択・記入

19ページの【家族分類チェック表】で確認した「生計維持者」について記入しましょう。入力内容に誤りがあると結果の通知が大幅に遅れる場合があります。正確に記入・入力しましょう。

続柄(注1)	生計維持者①		生計維持者②	
	<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父		
	<input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> その他			
漢字氏名	姓(5文字まで)	名(10文字まで)	姓(5文字まで)	名(5文字まで)
カナ氏名	姓(10文字まで)	名(15文字まで)	姓(10文字まで)	名(15文字まで)
生年月日	(西暦) 年 月 日		(西暦) 年 月 日	
2024年1月1日時点の生活保護の受給(注2)	<input type="checkbox"/> はい(受給していた) <input type="checkbox"/> いいえ(受給していなかった)		<input type="checkbox"/> はい(受給していた) <input type="checkbox"/> いいえ(受給していなかった)	

(注1) 続柄は、父・母の2名の組合せ、父または母を1名、父母以外の人を1名のいずれかの選択になります。祖父(母)または祖母(母)となる場合は、「父(母)」を選択してください。

(注2) 2024年1月1日時点で生活保護を受給していた場合、世帯主でなくても生活保護世帯に属していた人は「はい(受給していた)」を選んでください。

(注3) 生計維持者の氏名が漢字・カナでない場合やミドルネームがある場合は、7ページの【重要】氏名の申告についてをよく読んで記入してください。

⚠️「生計維持者の情報」に関するよくある不備

※昨年度の予約採用申込みで実際に確認された一列です。

- (例) スカラネットに入力した生計維持者が「マイナンバー提出書」に署名していない
 

スカラネットの入力内容	「マイナンバー提出書」の記入内容
生計維持者に「父」と「母」の2名を入力	生計維持者欄に「母」1名のみ署名 (「父」の署名がない)
- (例) スカラネットに入力した生年月日と「マイナンバー提出書」に記入された生年月日が異なる
 

スカラネットの入力内容	「マイナンバー提出書」の記入内容	説明
生年月日: 1976年2月1日	生年月日: 1977年2月1日	生年が相違している
- 2024年1月1日時点で生活保護を受給していないが「はい」を選択するケース

→スカラネットの入力内容と提出書類に記入されている氏名等が一致しない場合は、審査が進められない状態となり、正しい情報の確認に時間を要するため選考結果の通知時期が大幅に遅れる場合があります。不備がある場合には、スカラネットに登録されたあなたの連絡先へお電話又は書面にて正しい情報の確認をさせていただきます。なお、学校を選んで連絡することもあります。期限までに回答が得られない場合には選考に必要な情報が揃わないため、不採用として結果をお知らせする場合がありますので、正しい情報が入力されているか今一度確認しましょう。

① 生計維持者の情報を書いてください。生計維持者が2名の場合は、主たる者を①に記入して下さい。

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(25ページ目)

I 申し込みの準備

II 申込内容④ 生計維持者の情報(続き)

●2023年12月31日時点で生計維持者の扶養する「子ども」の人数

2023年12月31日時点で生計維持者の扶養する「子ども」の人数  人

ここで申告した「子ども」の人数は、JASSOがマイナンバーで確認する生計維持者(原則父母)の住民税情報における扶養親族の人数と比較して、あなたの世帯が多世帯に該当するかどうかの判定に使用します。

ここで申告いただく「子ども」とは、生計維持者の2023年12月31日時点の扶養親族(※1)のうち、次の(1)・(2)の両方の条件を満たす方が当てはまります。

(1) 生計維持者が令和5年(2023年)分の年末調整等で申告した扶養親族(※1)であること  
(2) 生計維持者の尊属(注)でないこと、及び扶養している生計維持者より年長でないこと  
注: 尊属とは、父母、祖父母、伯父伯母など、その人よりも上の世代の親族のことです。

【モデルケース(下線部が申告対象となる「子ども」です)】

世帯状況	申告する「子ども」の数
父、母、あなた	1人
父、母、あなた、 <u>中学生の弟</u>	2人
父、母、 <u>あなた</u> 、 <u>中学生の弟</u> 、 <u>小学生の妹</u>	3人
父、母、 <u>大学生の姉(※2)</u> 、 <u>あなた</u> 、 <u>高校生の弟</u>	3人
父、母、 <u>あなた</u> 、 <u>中学生の妹</u> 、 <u>2024年2月に生まれた弟</u>	2人
母、 <u>あなた</u> 、 <u>中学生の弟</u>	2人

※1 生計維持者が昨の年末調整、確定申告又は住民税申告で2023年の12月31日時点で扶養している親族として申告し、対象となった方をいいます(扶養親族になるには、年齢や学生であるかどうかは関係しません)。なお、税法上の控除額がない16歳未満の者も扶養親族に含まれます。

※2 2024年4月に就職して独立したきょうだいについても、2023年12月31日時点で生計維持者の扶養親族だったのであれば「子ども」に該当するため、申告の対象です。

III 必要書類

IV スケジュール入力

V 書類の提出

VI 申込後

●資産の申告(給付奨学金を申請する人のみ記入)

あなた(申込者)と生計維持者の資産を記入しましょう(1万円未満は切り捨て)。

あなた	生計維持者①	生計維持者②	合計
<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

申告の対象となる資産の範囲は次のとおりです。

- 資産の対象となるもの
  - 現金やこれに準ずるもの(退職金含む。投資信託、投資資産として保有する金・銀等)
  - 預貯金(普通預金、定期預金)、有価証券(株式、国債、社債、地方債等)  
※有価証券や投資信託は時価で換算してください。
  - 満期や解約により現金化した保険
- 資産の対象とならないもの
  - 土地、建物等の不動産
  - 満期、解約前の保険の掛け金
  - 住宅ローン等の負債との相殺
  - 貯蓄型生命保険や学資保険

① 生計維持者の扶養者数を書いて下さい。  
下のモデルケースを参考にする事。

② 給付奨学金を申込み生徒は調べて記入して下さい。

# 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

## ① 「申し込みの手引き」での入力準備(27ページ目)

I 申込みの準備

II 申込内容④ 生計維持者の情報(続き)

●生計維持者が1人となる理由(生計維持者が父・母2名でない人のみ選択)

生計維持者が1人であると申告した人は、その理由についても申告が必要です。  
※社会的常識を必要とする人(1ページ)については選択不要です。  
※JASSOでの審査に疑義が生じた場合、理由を証明する書類の提出を求める場合があります。

申告した生計維持者	生計維持者が1人である理由
父1名または母1名	<input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、父又は母と死別していた。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、父母の離婚等(※)により、父母いずれかどわたし(本人)は別生計だった。(※離婚調停中、DVによる別居中、未婚の場合なども含まれます。) <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない状況だった。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、わたし(本人)が生計維持者としていない父母いずれかからのDV・虐待を受け、生計維持者のもとに避難している。
父・母以外の親族等	<input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、両親(父母)と死別していた。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、両親(父母)が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない状況だった。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、わたし(本人)は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されていた(納税手続きにおいて、わたしの夫(妻)の扶養に入っていた)。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、わたし(本人)が父母(父母のうち一方と離別・死別している場合には、もう一方)からDV・虐待を受け、生計維持者のもとに避難している。
あなた自身(独立生計者)	<input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、両親又は両親(父母)が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない状況であり、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない状況だった。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、父母・祖父母ともに死別又は両親(父母)が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない状況であり、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない状況だった。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、わたし(本人)は結婚しており、配偶者等を扶養していた。 <input type="checkbox"/> 奨学金申込時点で、わたし(本人)が父母(父母のうち一方と離別・死別している場合には、もう一方)からDV・虐待を受けて避難していて、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。

●父母が健在であれば専業主婦(夫)の場合でも、父母2名を生計維持者として申告が必要です。  
●後日申告欄(6)で見送り生計維持者を追加することにもなります。

II 申込内容⑥ 奨学金振込口座情報

●公金受取口座の利用

預貯金口座の情報をマイナンバーとともに事前に国(デジタル庁)に登録している人は、公金受取口座を奨学金の振込先に指定することができます。

公金受取口座の利用  希望します  希望しません

●「希望します」を選択した場合、原則としてあなたが事前に登録した公金受取口座が奨学金の振込先になります。  
●公金受取口座を利用できない場合は、「希望しない」の提出時に口座情報を入力する必要があります。

27 (2025年度大学等予約採用)

① 生計維持者が1名の場合  
その理由にチェックを  
入れてください。

② 口座を持っていたら、  
「希望する」を  
選択できます。

## ② スカラネット入力

申し込みの手引き27ページまでの準備が整えば、次は**ネット入力**です。

**ネット入力は各自**で行ってください。

入力の方法は、申し込みの手引き37～41ページを参考に行ってください。





## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### ⑤ マイナンバー書類の郵送

収入に関する情報は、**マイナンバー**を利用します。  
・書き方の注意は、「確認書兼同意書」と同じです。

**マイナンバーカード**を持っているか否かで  
必要な書類が変わります。

詳しくは、  
「マイナンバー提出書」のセット 内にある  
【重要】マイナンバー（個人番号）の提出方法  
をご確認ください。

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### ⑤ マイナンバー書類の郵送

**スカラネット入力後、  
1週間以内に各ご家庭で郵送  
していただきます。  
上記確認書類を準備をしておいて  
ください。**

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

説明は以上です。

① 確認書兼同意書

② 各種証明書 など

を後日提出して下さい。

ただし、①②は次の様に準備して下さい。





## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

3年〇組□番 □□□□□□  
氏名

**給付**

組番氏名を書く！

給付型奨学金を申し込む場合は、赤で**給付**と書いて下さい。

進路指導室 TEL072-297-1056  
URL <http://www.osaka-c.ed.jp/semboku/>

個人情報扱いますので、  
泉北高校の青い封筒に  
必要書類を入れて  
**進路指導室**まで  
持ってきてください。

**提出時間：8:00～8:25**  
**(必ず自分で持って来る事。)**  
**担任に預けるのはダメ！)**

事前の準備をお忘れなく、お願いいたします。  
第1回目の締切は**5月23日**です。

大阪府立泉北高等学校

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

### 資料提出後

書類の点検を学校で行います。**訂正が見つかれば、お子様を通して書類を返却**します。

その際は、お手数ですが**5月31日までに再度書類を整えてご提出**ください。

もしそれに遅れますと、第2回目の申し込みに回っていただきます。

決定通知書の送付が約1カ月遅れますので、必ず手引きをよく見て、不備の無い様にしてください。

## 2. 日本学生支援機構奨学金の手続き

今日のパワーポイントについて

今日のパワーポイントの資料は、  
泉北のHP「在校生/保護者の皆さまへ」に  
掲載しています。

必要であれば、保護者の人と一緒に見ながら  
確認して下さい。